地域おこし協力隊奮闘記

田村市の体験型観光をコーディネート

一昨年5月に地域おこし協力隊として田村市に移住してきました高橋秀です。今年で活動3年目を迎えました。いつも地域の皆さんには温かいご協力をいただき、ありがとうございます。今後もどうぞよろしくお願いします。

今年度も、田村市の魅力を発信するイベントの企画・運営を中心に活動を行っています。昨年11月には、田村市のマイレールである磐越東線を活用した「イベント列車」を田村市職員の皆さんと企画・運営を行いました。車内では、私の活動拠点でもあるグリーンパーク都路（ホップジャパン）で造られたクラフトビールと、沿線5市町村の食材を使ったオリジナルのおつまみを提供し、多くのお客様にお楽しみいただきました。ローカル路線における課題は多くありますが、地域の魅力を伝えるために今後もこのような企画を行っていきたいと考えています。

また昨夏には、大学生まちづくりコンテストで田村市をテーマに選んでくれた学生たちと意見交換・プラン計画を行いました。地域の特色や魅力、課題に真剣に向き合いながら、若い視点でさまざまなアイデアを提案する姿には、私自身も多くの刺激を受けて大変勉強になりました。今後も、グリーンパーク都路や田村市を中心に、新たな交流や学びを少しでもできるよう、そして地域と外部の架け橋としての役割を果たせるよう努力します。

わたしの一票　わたしの未来

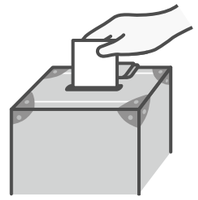
市長選挙が行われます

告示日　3月30日（日）　投票日　4月6日（日）

任期満了（7年4月16日）に伴う田村市長選挙を、上記のとおり行います。

≪投票立会人募集≫

投票立会人の経験を通じて政治や選挙に関心を持っていただくことや投票率向上のため、投票立会人を募集します。



●応募資格

①田村市の選挙人名簿に登録されている18歳以上の方（高校生などの学生も可）
②明るい選挙の推進に理解のある方
③特定の候補者の選挙運動や政治活動を行っていない方

●役割

期日前投票所・当日投票所で投票が正しく行われるよう立ち会って確認していただきます。
※選挙制度等に関する専門的な知識は必要ありません。

●立会日時・募集人数

	期日前投票所				当日投票所
会場	市役所	滝根・都路・常葉行政局及びおおごえふるさと館	各出張所	移動投票所	市内22カ所
期日	3月31日（月）～4月5日（土）		4月2日（水）～5日（土）	4月2日（水）	4月6日（日）
時間	午前8時30分～午後8時	午前8時30分～午後7時	午前8時30分～午後5時	午前10時～午後4時	午前7時～午後6時
報酬額	日額9,600円		日額7,200円		日額10,900円
募集人数	各期日前投票所　1日あたり2人				各投票所2人

※規定の源泉所得税を控除します。食費は自己負担です。

●申し込み方法　2月7日（金）までに、選挙管理委員会事務局、各行政局へ電話等で直接お申し込みください。

問 選挙管理委員会事務局 ☎82-1113

ちょこっと

田村市×獨協大学

エコライフ～身近な省エネを実践しよう！～

vol.17 地元産の食材をもっと取り入れてみませんか？

2025年が始まりました。皆さんはおせち料理を召し上がりましたか？おせち料理に使われている食材の中には海外からの輸入品があることをご存じでしょうか。例えば、おせち料理の定番である「腰が曲がるまで長生きできるように」と願って食べる「車海老」ですが、えび類の国内自給率は約4％であり、車海老はさらに低い自給率と言われています。また、「まめに暮らせるように」と願って食べる「黒豆」に関しても、2023年度の日本の大豆の自給率は約7%です。日本の伝統的な食文化でも海外からの輸入に依存しているのです。

輸入食材増加により自給率が下がるだけでなく、フードマイレージと呼ばれる食料の輸送にかかる環境負荷も増大します。フードマイレージを減らす解決策の一つが地産地消です。地元で生産されたものを地元で消費することで、輸送に伴うCO_2排出量を削減でき、フードマイレージを低く抑えることができます。2025年は、地元産の食材を食卓にもっと取り入れてみませんか。

（獨協大学国際環境経済学科4年 丹野）

フードマイレージの計算方法や削減に向けた取り組みについて紹介します

海を越えて　英語指導助手ペンリレー　No.138

新年の新しい目標

アリソン・クレイ
アメリカ合衆国・
オハイオ州出身
（田村市に来て7年目）

あなたは、自分自身について変えたいと思うことは何ですか。「もっと集中できればいいのに」「何かをやめられたらいいのに」「何かをもっとできればいいのに」など、誰もがすぐいくつか思い浮かべられるでしょう。誰もが自分を向上させたいという願いがありますが、もしかすると変わるにはもう遅すぎるという考えにとらわれてしまうかもしれません。「自分は長い間そうしていたので、変われないだろう」と。

私たちは皆、同じ気持ちを共有していて、特に冬はその気持ちが一番強くなるようです。12月頃に家族で夕食のテーブルを囲むと、よく決まった質問が出ました。「新年の抱負は何ですか」と。これはちょっと大きな問題ですが、世界中の人々が新年を迎える準備をしている時に、常に人気のある質問です。

そして実際、新年はただ1日が別な日に変わるだけで、新しいカレンダーが必要になること以外に、一体何が違うのでしょうか。

もちろん、違いは「目標」に対する明確な「始まり」です。多忙な生活の中で、同じ習慣にとらわれて向上しようという意欲が湧かなくなることがあります。そして、向上したいという意欲が実際に湧いて来た時、心の中に「気にしなくていい。面倒すぎる」という思いが出てくることがあります。しかし、レースを走る時と同じように、元日は自分自身をより良くするために選ぶ最適な日です。自分自身にとっても、周りの人々にとっても、より良い選択をして、より良いことを目指しましょう。世界のどこにいても、「始まり」という概念は常に同じでしょう。だからこそ元日は特別なのだと思います。